

国道16号等、千葉県北西部の交通の円滑化を目指した計画のたたき台を示します。

記者発表資料

「千葉柏道路検討会（行政：国土交通省、千葉県、関係6市※）平成18年10月設立」では、国道16号等、千葉県北西部の交通の円滑化を目指した「計画のたたき台」を検討してきました。その具体的な考え方として、今後、「利根川沿いルート」を具体的に検討する案として考えました。今後とも、国土交通省、千葉県、関係6市が一体となり、計画策定の各段階での情報を公表しながら、具体的な検討を進めていきます。

●具体的な計画を策定するための第1段階として、計画の考え方を示します

平成13年に設立した千葉柏道路協議会を延べ19回開催し、
計画づくりに関する提言を公表（平成18年6月）

提言を受け、「千葉柏道路検討会（行政）」で
検討を進めました

千葉県北西部の発展・まちづくりのためには交通円滑化対策が必要であり
新たな道路計画の必要性を確認

具体的な考え方として

今後、「利根川沿いルート」を具体的に検討する案として考えました

●計画のたたき台についてのご意見をお寄せ下さい

皆様に計画立案の内容を公表しながら、より具体的な計画を策定していきます。「計画のたたき台」に対するご意見は、今後発行予定の広報紙（ニューズレター）添付のハガキやホームページ等にお寄せ下さい。

※ 関係6市（野田市、柏市、我孫子市、印西市、白井市、八千代市）

「計画のたたき台とは、国道16号を中心とした千葉県北西部の交通の円滑化を図るための計画の考え方を示したものです。」

平成19年4月27日（金）

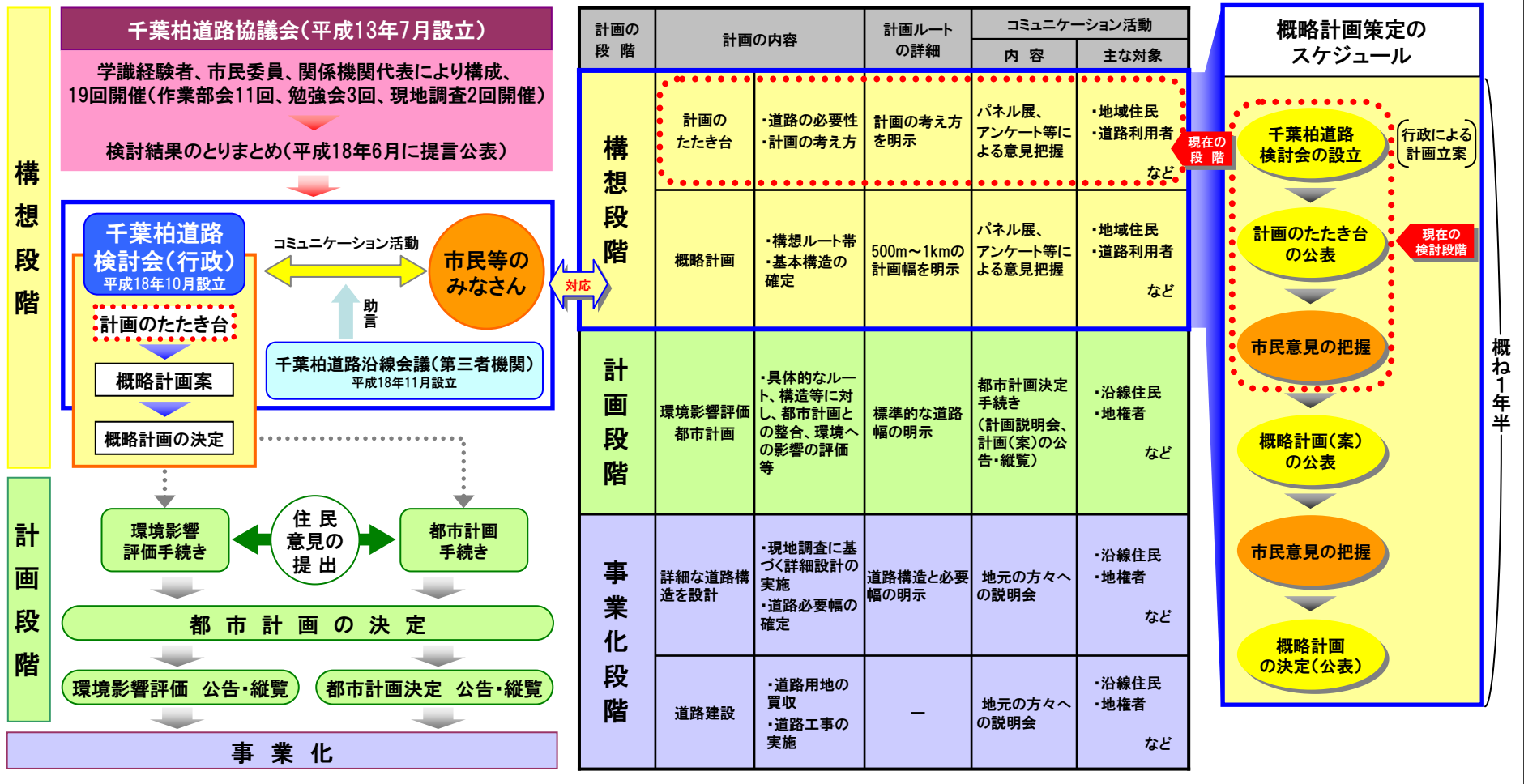
国土交通省 関東地方整備局 千葉国道事務所（「千葉柏道路検討会」事務局）

発表記者クラブ		
竹芝記者クラブ	横浜海事記者クラブ 千葉県政記者会	神奈川建設記者会
問い合わせ先		
国土交通省 関東地方整備局 千葉国道事務所	副所長	みのさく こういち 箕作 光一 電話043-287-0311
	計画課長	むとう さとし 武藤 聡 電話043-287-0314

検討体制と「計画のたたき台」の位置づけ

地域の皆さまに、「千葉柏道路」についての情報をホームページ、パネル展示などを通じて広く提供していきます。また、「計画のたたき台」についてのアンケートも実施していきます。

概略計画策定に向けたコミュニケーション活動など、みなさまの意見を把握していく方法について、第三者機関の『千葉柏道路沿線会議』を設立し、助言をいただきながら進めています。



今後、「利根川沿いルート」を具体的に検討する案として考えました。

① 住環境への配慮

地域にお住まいの方々の理解が得られるよう、既成市街地への配慮をしていきます。

② 周辺環境との調和

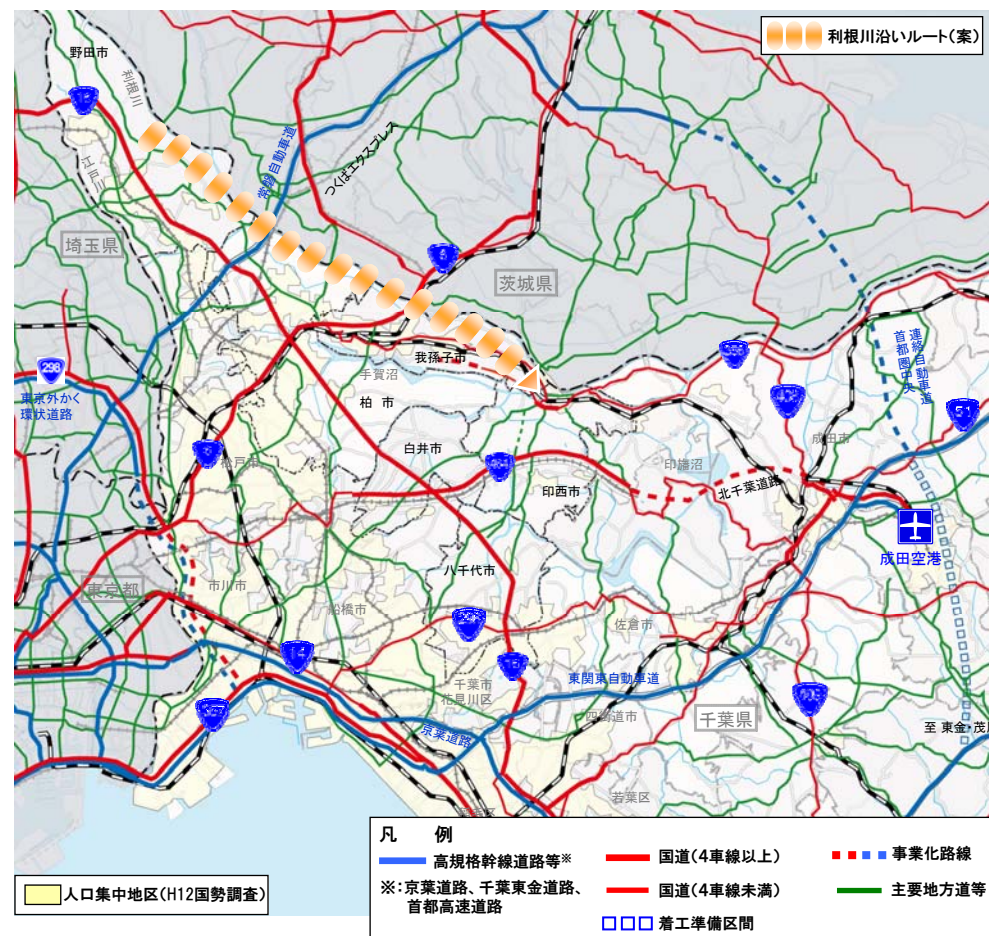
手賀沼の景観をはじめとする自然環境への影響が小さいと考えています。また、現在ある利根川周辺の自然環境や周辺地域への影響についても配慮していきます。

③ 広域的な渋滞緩和効果

野田市～八千代市（国道16号）の区間を大きく迂回することから、広い範囲での交通渋滞・混雑の緩和が期待されます。

④ 地域間交流の活性化促進

広域的な道路ネットワークが築かれることにより、茨城方面はもとより、千葉ニュータウン、成田方面などとの連携が高まり、地域間の交流が促進され、地域の活性化に寄与すると考えています。



今後とも、国、県、市が一体となり、計画策定の各段階での情報を公表しながら、具体的な検討を進めていきます。

※矢印表示(▶): 当面、既存の道路ネットワークの活用を基本に、千葉ニュータウン、成田、国道16号方面、茨城県方面等への円滑な交通分散体系を検討していきます。
さらなる延伸については、交通の状況を見ながら将来対応を検討する予定です。

なお、「利根川沿いルート」を具体的に検討するにあたり、以下に示す3つのルート案を比較検討しました。

①利根川沿いルート（案）

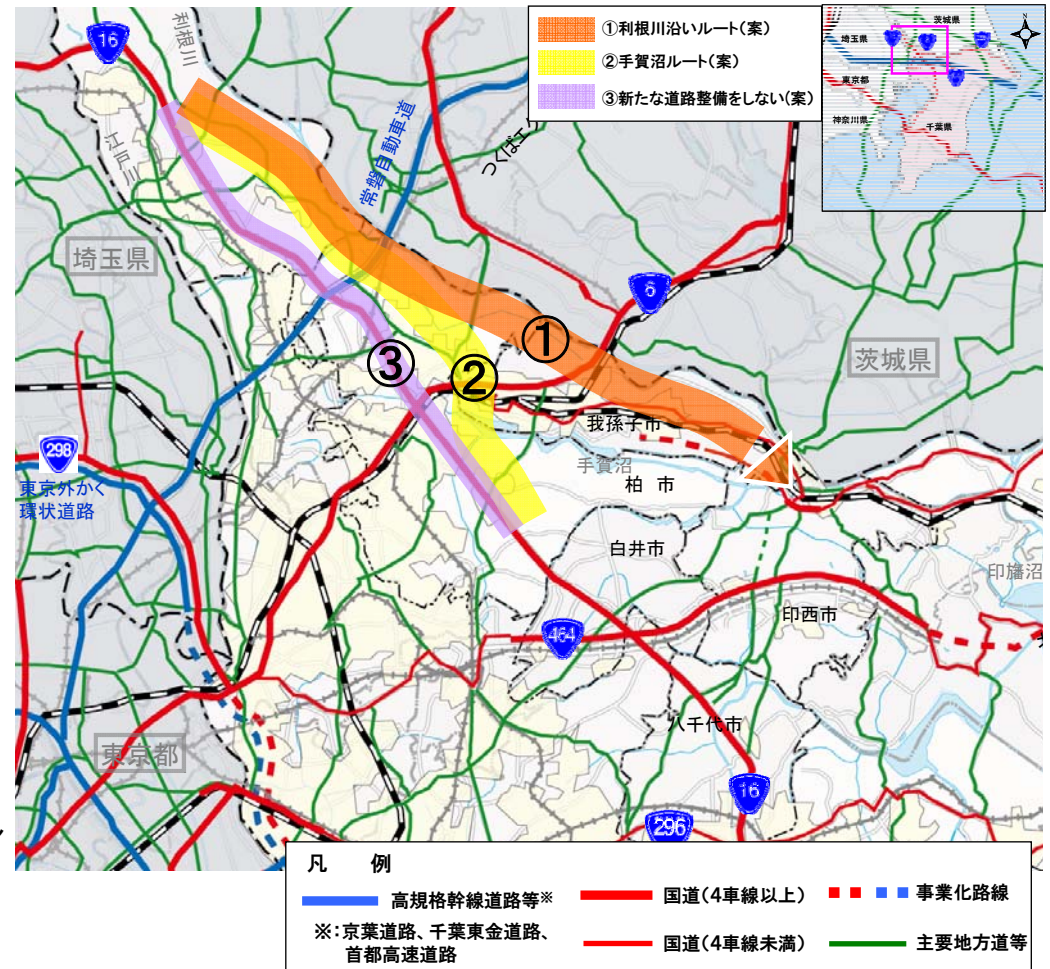
野田市～八千代市（国道16号）の渋滞区間を大きく迂回することから、広域での渋滞・混雑の緩和が期待されます。利根川沿いルートの自然環境や、近接する既成市街地の住環境への配慮が必要となります。

②手賀沼ルート（案）

手賀沼や既成市街地を通過するルートで、呼塚交差点を中心とした野田市～柏市（国道16号）の渋滞緩和が期待できます。手賀沼などの景観や、自然環境への配慮が必要です。また、既成市街地を通過するルートのため、住環境への配慮も必要となります。

③新たな道路計画をしない（案）

国道16号の交差点改良やバス停等の局所的な改良は実施します。しかし、抜本的な渋滞・混雑緩和は期待できません。また、将来的にも国道16号の渋滞・混雑の緩和が期待できないことから、生活道路を含めた広い範囲での住環境の悪化が懸念されます。



千葉柏道路協議会提言（平成18年6月公表）

千葉柏道路協議会提言

【現状認識と対策の必要性】

1. 現在の国道16号には交通渋滞とこれに起因する環境悪化などの問題が多く、この問題を放置できないため、交通容量拡大を軸とした何らかの対策が必要である。

【計画コンセプト】

2. 対策の検討にあたり将来の「東葛らしさ」を踏まえた我々が考える「みちづくり」・「まちづくり」のコンセプトが重要である。良好な道路交通環境の整備により、「東葛らしい」みちづくり・まちづくりを推進すべきである。

【対策案の検討】

3. 抜本的な問題解消のためにはバイパス案が有効である。併せて、将来も主要道路として機能する現国道16号の対策を行うことも必要である。

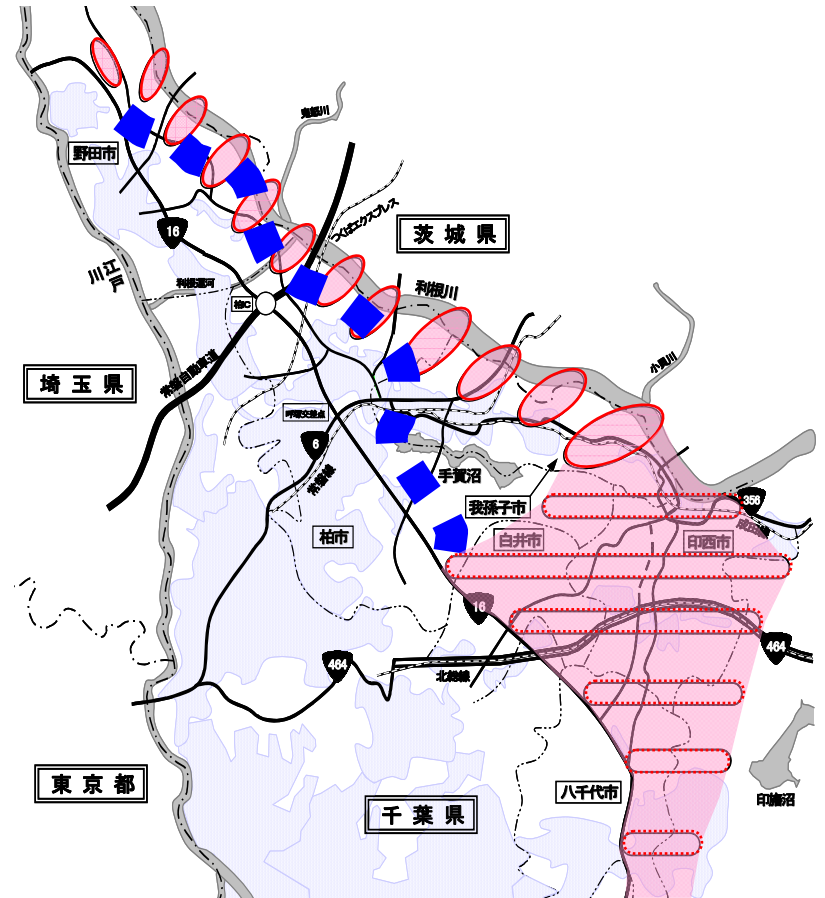
【バイパス案の考え方】

4. バイパス案については、渋滞緩和等の交通機能に加え、手賀沼の保全や既成市街地への影響といった評価も重要であり、住民からの意見が多く協議会委員からも意見があった既成市街地や手賀沼を迂回する利根川沿いのルートを含め、起終点位置など様々な視点から十分に検討すべきである。

【今後について】

5. 今後は、周辺道路や沿道の土地利用、それをかもしだす風致景観を勘案しながら、地域と行政が協働しつつ専門的な視点から検討を行うべきである。

今後検討を進めるルート案



- : 「手賀沼の保全」や「既成市街地への影響」を評価した場合に、考えられるひとつのルート帯
- (with dashed line) : 上記ルート帯から16号への取り付きをイメージしたもので、協議会としては未検討
- : 計画のあらましまで示されたルート素案（平成11年11月）